校長室雑記

笑ってごらん

第 629 号　H.30.7.9 発行

～今日の格言～
人の一寸　我が一尺
（人の欠点は目につき易いが、
自分の欠点は気付きにくいものである）

『寿限無』

ラジオで久しぶりに落語を聴いた。演目は表題の『寿限無』である。

生まれた子供がいつまでも元気で長生きできるようにと考え、紹介された縁起の良い言葉を、迷った末に全部付けてしまった、という前座噺。

子供に名付けられた名前は･･･、

「寿限無寿限無五劫の擦り切れ海砂利水魚の水行末雲来末風来末食う寝るところに住むところやぶら小路のぶら小路パイポパイポパイポのシューリンガンシューリンガンのグーリンダイグーリンダイのポンポコピーのポンポコナーの長久命の長助」。

近所の子供とケンカし、殴られてこぶを作った子供が父親のところへ言いつけにやってくる。やりとりの中で長い名前が繰り返されるうちに、こぶが引っ込んでしまった、というのがサゲ（オチ）である。

これは落語ゆえにおもしろおかしく作られた名前であるが、実際にあった長～い名前として有名なのは、画家ピカソの名前である。

「パブロ・ディエーゴ・ホセ・フランシス・コ・デ・パウラ・ホアン・ネポムセーノ・マリーア・デ・ロス・レメディオス・クリスピーン・クリスピアーノ・デ・ラ・サンティシマ・トリニダード・ルイス・イ・ピカソ」

寿限無やピカソのように、ここまで極端に長い名前も珍しいが、名前というのは『親が我が子に贈る最初のメッセージ』なのである。

「こんな子に育って欲しい」、**「こんな人物になって欲しい」**など親は真剣に考えて名付けている。

だから、今一度自分の名前の由来について再考する機会を持って欲しい。そのことを通じて、あらめて「親から子への愛情」を感じ取ることができるかも知れない。

こんなのも見つけた･･･(^0^)

① 世界一長い英単語　『珪性肺塵症』

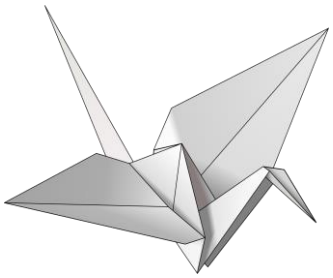
Pneumonoultramicroscopicsilicovolcanoconiosis

② 某コーヒーチェーン店で最もややこしい注文

（但し、現在通用するのかは不明･･･）

ベンティアドショットヘーゼルナッツバニラアーモンドキャラメルエキストラホイップキャラメルソースモカソースランチバチップチョコレートクリームフラペチーノ

～・～・～・～・～・～・～・～・～・



ワールドカップサッカーにおいて、サムライジャパン、８強入りならず。ベルギーチームに逆転されたまま、試合終了を告げるホイッスル。泣き崩れる選手、それを称える相手国の選手・監督の姿。ニュースでも数多く取り上げられた。

しかしながら、これまでの期間、日本チームの活躍に胸躍らせ熱くなることができた。選手たちに「感動をありがとう」と言いたい。

ネット上で話題になっている写真がある。綺麗に掃除がなされた日本チームのロッカールームの写真だ。中央のテーブルには青い折り鶴と「スパシーバ（ありがとう）」のメモ。

『立つ鳥跡を濁さず』というが、それを実践して示してくれた選手たち。誇りに思う。